

## 令和3年度 第8回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会場 令和3年11月25日(木) 午後7時00分～8時00分 602会議室+Web会議  
出席者 谷部議長、松本副議長、小原委員、齋藤委員、指田委員、二ノ宮リム委員、  
信國委員、吉村委員  
欠席者 稲垣委員、吉川委員  
事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

### 1 開 会

<配付資料>

- 資料1 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会統一テーマ(案)
- 資料2 令和4年度 都市社連協役員会等事業日程(案)
- 資料3 社会教育関係委員研修会(案)
- 資料4 視察研修(案)

- ・昭島市月間行事予定表12月
- ・昭島市郷土資料室だより「鯨ーいさなー」Vol. 2、Vol. 3

### 2 報 告

#### (1) 建議「あきしま学びぶらん(第2次昭島市生涯学習推進計画)の評価について」について

※11月8日付で建議の提出があった。進捗状況調査を依頼した部署にも送付。

#### (2) 関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について(11/11)

委員 最後までいることができなかったが、牧野先生のお話大変興味深かった。大変広い中でもポイントをつないでお話されて、とても学べたと思った。施設も素晴らしかった。

委員 牧野先生のお話がじっくり、納得できた。自分がやってきたことをまとめてもらったと思った。トークセッションもそれぞれの立場からお話され、いいアイデアが出てきたりしてとても興味深かった。大変満足している。

委員 学生や若者に話の中心が向けられていると思い、共感できる場所が多かった。どの世代の人が聞いても共感できる内容だったと思う。若い世代に対して、こうあってほしい、こうしようというよりは、実際に若者がどう思いどう活動しているかのお話の構成になっていたので、聞いていてすんなりとはいつてきた。

委員 初めて参加したが、トークセッションでは二ノ宮リム委員の実践に基づいたお話や、お子さんの活動から得られた最前線の現場の声が聞けて大変すばらしかった。

議長 今回の牧野先生の基調講演やトークセッションから、私たちが3年前から始めたあきしま会議について、私たちは理論をもってやっていたわけではないが、実は理論的にも合致していたことがわかった。活動に対して自信が持てたし、背中を押してもらったと思った。小金井の社会教育委員さんから興味を持っていただいたという話もあったが、

以前、国立の社会教育委員の方が見学に来られたこともあった。他地域の人たちにも自信をもって話していきたい。

委員 皆さんの話を聞いていて改めて、今回はかなり子供や若者にとっての生きやすい世の中にするために社会教育がどう支えていくかというテーマであり、クローズアップされていたと思うが、子供や若者が生きやすい社会は、高齢者も含め他の世代にとっても生きやすい社会である、そして、子供や若者を支えることがすべての世代の人の生きがいとなり、社会教育の原動力になるというお話になっていたかと思う。そのために人々がつながりを作っていくことが大切で、あきしま会議がそのモデルになることが浮かび上がったと思っている。参加された方からも、あきしま会議の話がよかったという声も聞いている。これからこれをどう発展させていくか楽しみだ。

### (3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会について

#### (第4ブロック 11/12、第5ブロック 11/20)

議長 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の副会長として、第4ブロック・第5ブロックの研修会に参加した。これまでは昭島が所属する第2ブロックしか参加したことがないわけだが、ブロックによって特色がある。第4ブロック（東村山市）では、佐原香織氏と事例報告として中野区の「なかの生涯学習サポーターの会」の方が登壇された。アイシテルカードというコミュニケーション教材を使って、グループでアイスブレイクをし、グループワークの中ではコロナ禍でどう社会教育活動を展開すればよいかというのが主題であったかと思う。やはり対話が重要で、人と社会をつなぐ ICT で目標に向けて情報をつなごうという話だった。ICT を使いこなすのは難しいが、みなさんどのように使っていくのか悩んでおられるようだった。第5ブロック（狛江市）では、深大寺の住職による「住職が考えるコロナ禍における生活の様式の変化」という講演会だった。深大寺は普明寺と深いつながりがある。こちらも、これからの社会教育をどのようにつないでいくかという話だった。

事務局 どちらもグループワークが積極的に取り入れられていた。コロナ禍で「できなくなったこともあるが、できるようになったこともある」というのが印象的だった。

議長 グループで「メリット」「デメリット」を書きだしたが、不思議とどのグループもほとんど同じ数だったというのが面白いと感じた。

## 3 協 議

### (1) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会統一テーマについて（資料1）

議長 前回の皆さんからの意見を踏まえ、事務局と協議し提案したい。

「市民のニーズを活かす・つなげる社会教育～対話から作ろう これからの『学び』というものであるがいかがか。

※異議なし こちらで都市社連協に提案する。

### (2) 令和4年度 都市社連協役員会等事業日程（案）について（資料2）

事務局 来年度の日程をおおよそ例年通りに提案したい。大会や研修会においては、委員の皆

様のお力添えが必要となるため、ご予定をお願いしたい。

### (3) 社会教育関係委員研修会について (資料3)

事務局 日程案と企画案を検討いただき、各関係委員会にお伝えしていきたい。あきしま会議の体験というのが主な内容。オンラインの体験も含んでいる。

議長 コロナの状況がどうなるかわからないが、できる範囲でやっていきたい。

委員 事例は市民活動の事例ということか。いつものあきしま会議ではグループごとで事例報告をしているので、それがいいかと思う一方で、オンライン参加の人をどのようにするかが難しい。オンラインに慣れるのが難しい。

委員 今のところ感染症の状況が読めない。

議長 事例発表で市民の方に来ていただくのはどうか。例えば、三多摩車人形の会の方が以前2回ほどあきしま会議に参加されているが、あきしま会議が彼らの活動にどのくらい寄与できたのか聞いてみたい。

### (4) 視察研修について (資料4)

事務局 コロナの感染状況によるが、「対話から地域力を育む社会教育」とし、前回企画して中止となってしまった小田原市に日帰り、あるいは、オンラインでの研修はどうか。

委員 小田原では、「鈴廣」が地域づくりにとても積極的なので、調べてみたい。

事務局 民間事業の地域づくりのお話を聞いてみてもよい。

次回

12月23日(木) 午後7時より 602会議室+Web会議

1月27日(木) 午後7時より 602会議室+Web会議